

# 三重県鈴鹿市白子方言の副助詞

佐藤虎男

## I. はじめに

1. 調査対象地：伊勢湾沿いに展開する旧河芸郡白子町の三大字（北から江島・白子・寺家）を対象とする。近鉄によって、名古屋や大阪方面への交通が早くから開けた。生業は、商・農・工・漁業と多種にわたるが、会社勤務の家庭も多く、日々の人の動きの範囲は広く盛んである。
2. 調査年月日： 1997年12月26日 午後1時20分～4時50分
3. 話者： 佐藤昌平 昭和4年12月15日生（68歳）
4. 調査者・調査場所： 佐藤虎男、話者宅
5. 調査方法：統一調査票による質問調査
6. その他：(1)抑揚は、高音部位を「↑」で示す。まま現れる鼻濁音は表記しない。  
(2)被調査者の説明は（ ）で括り、調査者の注記は< >で括る。  
(3)複数回答の場合、②以下は問題の副助詞に相当する話部だけを掲げ、その他の部分は、原則として～～で略記する。  
(4)関連事象は、当該項目下に随時\*\*印をつけて補足する。

## II. 調査結果

### (1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

#### A 添加<<さえ・も>>

1. 雨だけでなく風さえでてきた。 ①ア「メ「ダケ「ヤ 「ナ「シニ 「カゼ「モ  
フイテ 「キ「タ 「ワ。(～ヤナシニのところを～トチゴテと言うことが多くなっ  
ている。) / ②～「カゼ「マデ～。(こうも言う。)
2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。 ①コトシ「ワ 「ホーサクデ  
「コ「メモ ム「ギ「モ 「ヨ「ー ト「レ「タ 「ナ「ー。 / ②～「コ「メ「ダ  
ケ「ヤ 「ナ「シニ ム「ギ「モ～。 / ③～「コ「メ「ダケ「ト 「チ「ゴテ ム  
「ギ「モ～。(通常「～ばかりか～も」のような表現は縁遠く、①のようなのが一番  
よくこなれた言い方。文言に忠実に表現すれば②③のようになる。なお、③は②より  
新しい。)

#### B. 予想外の実事<<さえ・だけ>>

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。 ①ショ「ーガク「セーデモ 「ン  
ナモノ「ノ 「ヘーキデ「 ワープロ 「ツコト「ル 「ゾ。<「ンナモノ」は「そりゃ  
あもう」ほどの意味の間投話部。> / ②「ショーガク「セーサエ デ「キルノ「ニ  
「ソナナ コ「ト 「ヨ「ー 「セン ノ「カー。(「小学生デサエ」と言わないこ

ともないが、もし「サエ」を使えば「デ」はつけないのが普通。) / ③ショーガクセーカテ～。

4. (宝くじが) 当たると思っていなかっただけに嬉しい。 ①「タカラ」クジガ 「マ」サカ 「アタル」ト 「オモト」ラヘン「ダ」ノニ 「アタッテ」サ、「ソラ」ウレシ「ー」。  
/ ②～「オモト」ラヘン「ダ」デ ヨケー「ニ」～。  
< 文言の「～だけに～」により忠実なのはこのほうであろう。 >

### C. 条件<<さえ>>

5. 暇さえあれば釣りに行っている。 ①「ヒマ」サエ ア「リヤ」ー 「ツリ」ニ イット「ル」ゾ。(老年層) / ②「ヒマ」サエ アッ「タ」ラ～。(新)

### D. 例示<<でも・ほど・まで・など・やら・なり・なんて>>

6. まあお茶でも飲んでください。 ①「マ」ー オチャ「デ」モ ノンデッ「テ」ー。  
/ ②～オ「チャ」ナト～。(古風。今はもうほとんど言わないのではないか。)
7. みやげにはこのまんじゅうなどどうかな。 ①「ミヤゲ」ニ コノ マ「ン」ジュー 「デ」ヤロ。  
< 「など」無形の言い方が第一答。 > / ②～「コノ」マ「ン」ジューナンカ 「ド」ヤロ。  
(こうも言う。が、ナンカを言うのには、その前の語が「このまんじゅう」のように長い語でなく、「これ」などのような短い語のほうが言いやすい。)
8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。 ①ホ「ラ」モー 「トピアガル」グライ ウレシ「カ」ッタ。  
(多) < 「思わず」などは言わないで、「ホラモー。」(そりやもう)。 > / ②～トピアガルホド～。(①のグライのほうをよく言う。)

9. まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。 ①「マ」サカ アンタ「ト」コマデ 「ハナ」シガ 「イク」トワ 「オモ」ワヘンダ「ワ」。  
(多) / ②～アンタ「ニ」マデ～。  
< 「～ニマデ」という複合よりも①のようなのが普通のようなのである。もつとも、その「あんたトコマデ」の「トコ」を助詞「ニ」に見合うものと見るならば、これも一種の複合と言うことができる。 > / ③～アン「タ」マデ～。

10. なぐるやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。 ①「ナ」グッタリ 「ケッ」タリ シテ ムチャクチャ 「シ」タ「ガ」ー。(多) / ②「ナグル」ヤラ 「ケル」ヤラ 「ホラモー」 ムチャクチャ 「シ」タ「ワ」サ。(少)

\*\* 自然会話文例「シ」ソ「ヤ」ラ 「ノ」リヤラ 「ナ。」(紫蘇やら海苔やらね。)  
また「ドーヤラ」コ「ーヤ」ラ 「デキソ」ーヤ「ワ」。(どうにかこうにかできそうだよ。)  
の「ドーヤラコーヤラ」はもはや一副詞ともなっている。

11. 私になり相談してくれれば良かったのに。 ○ {「ソ」ナ「ハナ」シナラ} ワタシ 「ニ」デモ 「ソーダン」シテ ク「レ」タラ ヨカッタ「ノ」ニ 「ナ」ー。(「～になり」はあまり言わない。)

\*\* 「あまり言わない」のは、「～になり」という複合形だからではないか。「にでも」はあっても、「になり」は言いにくいというところに、「なり」の生存がかかって

いる。複合形でなければ、「コトズケナリト シテ クレヤ エーノニ。」

(伝言でもしてくれればいいのに。)のように、行われるのである。

12. 野菜なんていくらでもできる。①ヤサ「イ」ナンカ イックラ「デ」モ 「デ」キル ワ。(共通語的な言い方。) / ②ヤサイ「ミ」タイナ モン。(このほうが馴染んだ言い方。)

#### 一対の語の例示<<だって>>

13. しょうゆだってみそだって作っていたんだ。①{ム「カシワ」 「タマリデ」モ ミソ「デ」モ 「イ」エデ ツ「クットッタ」ヤ ニ。 / ②~「タマリヤ」ロガ ミソ「ヤ」ロガ。(やや古風) / ③~「タマリニ シ」テモ ミソ「ニ」 「シ」テモ ミン「ナ」。

#### 択一<<なり>>

14. 私なり弟なりがお手伝いに行きます。①ワタ「シ」カ 「オトト」カ ドツ 「チ」カガ オテ「ツ」ダイニ 「ジャマシマス」ワ。 / ②ワタ「シ」ナリ 「オトト」ナリガ。(改まった物言い。)

\* \* 「なり」を含む副詞がかなりある。その「カナリ」がそうであるし、「イキナリ」「ナンナリト」「ドーナリコーナリ」などもある。

#### 例外でない<<とて>>

15. 村長とて、そうするより仕方なかったんだろう。①「シ」チョーサンデモ 「ソー セ」ナ シ「カタガ」 ナ「カッ」タンヤ「ロ」。 / ②「シ」チョーサンヤ 「ユ」ーテモ。 <この場合は特に頭に副詞「イックラ(いくら)」を伴うのが普通である。 > / ③「シ」チョーサンニシテモ。 / ④「シ」チョーサンカテ。(多) / ⑤「シ」チョーサンヤテテ。 <「~ヤテテ」は古老のことば。これを言う人はごく稀。あるいはもう聞くことができないか。 >

#### 列挙<<も>>

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。○ハルラ「シュ」ー ナッテ 「ウメ」モ サ「クラ」モ イッ「ペ」ンニ 「サ」イタ 「ナ」ー。(「ハルラシューナル」は、「ハルラシナル」より古風。)

#### 同類の暗示<<も>>

17. テレビもそろそろ買い替えよう。○「テ」レビモ 「ソ」ロソロ 「カイカエヤ」ナ ア「カン」ナ。 <「カイカエヤナ」は「買い替えねば」の意。ちなみに「買い替えよう」という意志の形は「カイカエヨ。(短呼)」である。 >

#### やわらげ<<でも>>

18. まあお茶でも飲んでください。①「マ」ー オチャ「デ」モ ノンデッ「テ」。(女子は「ノンデッテ「チョ」ーダイ。」と言う。) / ②~オ「チャ」ナト ノンデッ「ト」クナハレ。 <~ナトは老人のことばになっていよう。これが同じく老人のこと

ばになっている文尾の「～トクナハレ」とがよく呼応する。>

#### E. 包括 <<など>>

19. 盆には子や孫などが帰ってくる。○ボン「ニ」ワ 「コー」ヤ 「マ」ゴラガ  
「ヨ」ーケ 「カイ」ッテ「クン」ノ「ヤ」ワ。<「子や孫」を「など」で受けるこ  
とは少ない。「子や孫ナンカガ」などとも言いにくい。「鯛やひらめナンカガ好き」  
などはよく言うから、人を「など」で受けるのに無理があるのか。人の場合は「ラ」  
とか「タチ」とかの特定接辞による表現が安定して存するからであろう。>

#### F. 提題 <<だって>>

20. ゲートボールだってできるよ。①「ゲートボ」ールデモ 「デ」キル 「ニ」。  
(能力の場合。) / ②「ゲートボ」ールモ～。 (場所の場合。) / ③「ゲートボ」ール  
カテ～。 (能力の場合でも場所の場合でも。)

#### 話題にあげる <<って>>

21. 何だい、いいことって。○ナン「ヤ」ー、エー「コ」トテ。<促音を伴わな  
い。「～コトッテ」となると、東京語の感じになる。>

#### 極端なものの提示 <<でも・くらい・すら・も>>

22. そんなこと子供にでもできるよ。①「ソ」ンナ コ「ト」 コ「ド」モニデ「モ」  
「デ」キル ゴ。 / ②～コ「ド」モニ「カ」テ～。 (主に女性)
23. 食べることくらいは何とかしたい。○タベル コト「グ」ライ ナン「ト」カ  
「シ」タイ ワサ。
24. 名前さえろくに覚えていない。①ナ「マ」エ「サイ」 「ロク」ニ オボエト「ラ」ヘ  
ン。 / ②ナ「マ」エ「モ」～。 (どちらかといえば、このほうが多いか。) / ③「ナマエ  
ヒト」ツ～。 (こういう言い方もある。)
25. 弁当代に千円もかかった。○「ベン」トーダ「イ」ニ セ「ン」エンモ 「カ」カツ  
タ。

#### 軽いものをあげる <<さえ>>

26. これさえあればもう大丈夫だ。○「コレ」サエ アツ「タ」ラ モーダ「イ」  
ジョ「ー」ブヤ。 (「アツタラ」のところを「ア「リヤ」ー」とも言う。古風。)

#### (2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

#### G. 分量・程度 <<ほど・くらい・ばかり>>

27. 旅行で三日ほど家をあげた。①リョ「コー」デ ミツカホド 「イ」エ 「ア」  
ケタ。 (後の②よりも改まった言い方。) / ②～「ミツカバ」カ～。 <「三日」ぐら  
いの短い日数で「グライ」をつけることは少ないであろう。「十日ぐらい」になると  
言いやすい。「三日」で言おうとすると、「三日バカ」などがよく落ちつく。バカは  
「ばかり」のバカ。>
28. 茶碗に半分くらいください。①チャワンニ 「ハン」ブグ「ライ」 オク「ナ」ハ

レ。(オクナハレは古風の敬意表現。親しい間ではオク「レ」ーと言う。中年以下の女性は「チョ「ーダイと言う。) / ②～「ハンブバ「カ～。(中年以上)

\*\*「コレ ヒャクエ「ンガトコ モ「ラオ カ「ー。」(百円ほどください。)の「ガトコ」は副助詞としてよいか?

29. 子供にでもわかるくらいはやさしい本だ。 ○コ「ドモニデ「モ 「ワ「カルグラ イノ ワカリヤ「ス「イ 「ホ「ンヤ。

30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。 ①イ「ツシューカン「グ「ライ 「ル「ス ニ スンデ 「タ「ノム ワ「ナ。 / ②イ「ツシューカン「バ「カ～。

#### H. 基準 <<ほど>>

31. 今年の寒さは去年ほどではない。 ○コ「トシノ「 サムサワ 「キョ「ネン「ホ ト「ヤ ナ「イ。 <こう言うこともあるが、最も一般的には、「～「キョ「ネンニ クラベテ 「ソンニ「 サ「ム「ナイ。」などと言う。 >

#### I. 理由 <<ばかり>>

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。 ①「チョッ「ト ユ「ダ ンシ「タバツ「カ「リニ トン「デ「モナイ 「コ「トン ナツ「タ「ワ。 / ②～ ユ「ダンシ「タデ 「エ「ライメニ オータ「ワ。 <①の「～ばかりに」が「～デ (ので)」と違うのは、その理由が話者にとって後悔の種であるという点にある。 >

#### J. 「それにふさわしく」 <<だけ>>

33. 苦労しただけあって人間ができています。 ○「ク「ロー 「シタダケ「 アツテ ニンゲンガ 「デキテヤ「 ワ。 <「デキテヤ」は軽い敬意表現。 >

#### 形式名詞的用法 <<なんか>>

34. 毎日孫の守りやなんかで忙しい。 ①マイ「ニ「チ 「マ「ゴノ モリ「ヤ「ラ ナン「ヤ「ラデ イ「ソガシ「ー 「コツ「チャ。 / ②～モ「リ「ヤナンカデ～。(標準語的。)

#### 「それこそ」 <<こそ>>

35. それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。 ○「ソレ「コソ アンタ、 「バ「ケツ 「ヒックリカ「エシタミタイナ 「オーア「メデ サ。

#### 「～ばかりか」 <<ばかり>>

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。 ①オ「ト「ーサン「ダケ「ヤ「ラ「ヘン、 オ「カ「ーサンモ ス「ポ「ーツ 「ス「キヤッタ 「ナ「ー。 / ②オ「ト「ーサン バツ「カ「リト 「チ「ゴテ オ「カ「ーサンモ～。(新)

#### K. 今にも行われる <<ばかり>>

37. もう食べるばかりにしてある。 ①「モー「 タ「ベ「タラ エー「ヨ「ニ 「シ テ「 アル。 / ②～タ「ベ「ルバツ「カ「リニ～。

#### 動作の完了直後 <<ばかり>>

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。 ○イマ 「シゴトカラ カエッテ キ「タバツ  
「カ「ヤ ワ。

基準 <<まで>>

39. 駅までもうちょっとだ。 ○「エ「キマデ 「モー チョツ「トヤ。

L.等量の反復 <<ずつ>>

40. 一人ずつ呼んで話をした。 ○ヒトリ「ズ「ツ 「ヨンデ ハ「ナシ 「シ「タ。

M.等量の配分 <<ずつ>>

41. 一人に二個ずつみかんをやる。 ○「ヒト「リニ フ「タツ「ズツ 「ミ「カンオ  
「ヤル。(昔は年寄りがフタツズツを「フタ「ツ「ーツ」と言っていた。)

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N.限定 <<しか・だけ・ばかり・きり>>

42. 酒はたまにしか飲まない。 ①「サケワ タマニ「コソ ノ「マ「ヘン。 <この  
事象は特に注目されよう。 >/②~「タマニ「シカ~。(共通語的。)

43. 今朝は寝坊をしてパンだけ食べて来た。 ○ケ「サ「ワ ア「サ「ネシテ 「パ「  
ンダケ タベテ 「キ「タ。

44. そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。 ○「ソンニ ベンキョ「バツ「カ  
「シト「ルト カ「ラダニ 「ド「クヤ ニ。

45. うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。 田植えのこと ○「ウ「  
チノ タンボダケ ノ「コツト「ル「ダケ「デ 「ヨ「ソワ 「ミ「ンナ オ「ワツ  
ト「ル ガ。 <「きり」は言わない。「ダケ」が重複して用いられているが、こうい  
うことは珍しくないであろう。 >

O.強調 <<しか・こそ>>

46. もうこれだけしかないよ。 ①「モー コンダケ「コソ ナ「イ「 ワ。(これ  
が伝統的な言い方。)/②~コンダ「ケ「シカ~。

47. 今年こそいい年にしたい。 ○「コトシコ「ソ エー 「ト「シニ 「シタ「イ。

P.限界 <<だけ・まで>>

48. これだけ言っても分からないのか! ○「コンダケ ユ「ーテモ ワ「カラン  
ノ「カ。

49. 2千円くらいまでなら何とかなる。 ○ニセンエン「グ「ライマ「デ「ヤツ「タ「  
ラ ナン「ト「カ ナ「ル「 ワ。

(4) 陳述的なもの

Q.「~ば~だけ」<<だけ>>

50. 肥料をやればやるだけよく育つ。 ○ヒ「リョ「ー 「ヤ「リヤ 「ヤルダケ  
「ヨ「ー 「ソダツ「 ワサ。(「~「ヤツ「タラ 「ヤルダケ~」とも言う。「ヤ  
リヤー」は老年男子の言い方。)

「假定形・ば・こそ」《こそ》

51. 心配すればこそ言うんだ。 ①「シンバイス」リヤコソ 「ユーネ」ヤ ナイカ。<亡母は「スリヤコソ」のところを「スリヤコサレ」とも言ったが、この被調査者は確かな記憶がないという。いずれにしても、今はほとんど聞くことができないであろう。/②「シンバイスルデ ユーネ」ヤン カ。

「こそ・假定形」《こそ》

52. 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。 ○「アイツワ」モ「ン」クワ 「ヨ」ー 「ユーケ」ド ヒ「トノ ユー コ」ト チョツ「ト」モ キ「カンナ」ー。<「～コサレ」はあっても、「こそ言え」の言い方はしないようである。>

53. 「～でこそあれ コサレなども 」という言い方はありますか。

上記 51.に述べたとおりであるが、筆者の記録の一つには、「「オ」ヤナ「リヤ」コサレ（親なればこそあれ）～。」がある。今の老年層は「親なりやコソ」なら言う。

「未然形・ば・こそ」《こそ》

54. 押しても引いても動かばこそ。 ①「テ」コデモ 「ウゴ」カヘン。（「押しても引いても」という言い方はしない。また「動かばこそ」も言わない。）/②～「ウゴク」モ「ンカ。（あるいは「ウ」ゴク「カ」ー。」とも。）

「～こそ。」《こそ》

55. 失礼なことを言わないでこそ。 ○シ「ツレー」ナ コト ユ「ワンヤ。（？）<「言わないでこそ」という言い方はない。「ユワンヤ」は「言わないんだよ」。>

「～こそ～が」《こそ》

56. 今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。 ○イマ「デ」コソ 「イ」エカラ 「デ」ヤンケド ムカシワ 「ヨ」ー 「デアルイテ」ゴ「ザッタ」ワ。

「～ば～ほど」《ほど》

57. 働けば働くほどもうかる。 ①「ハタラ」キャ 「ハタラクホド」モーカル。（ハタラキャはハタライタラとも言う。前者は古風の言い方。）/②～「ハタラクダケ」～。

R. 打ち消しとの呼応 《まで》

58. 村長に聞くまでもないことだ。 ①「シ」チョーニ 「キクホドノ」コ「ト」デモ ナイ 「ワ」サ。/②～「キカ」ンデモ エー 「コツ」チャ。<「まで」を使わない①②の言い方が普通であろう。>/③～「キク」マデモ ナイ～。（こうも言えるが、かしこまった感じがする。）

否定との呼応（それさえもない）《も》

59. 朝から忙しくて昼飯も食えない。 ○ア「サ」カラ イ「ソガシ」テ 「ヒルメ」シモ タベラ「レ」ンダ。<「何もあげる物がない」を「ナニヒトツ～」のように言う言い方はあるが、「昼飯」という限定された語に「ヒルメシヒトツ～」のように

言うことができない。>

否定的取り上げ<<など>>

60. こんなものなどいくらでもあるよ。 ①「コンナ モ「ンヤッタラ イックラ  
「デ「モ アル「デ。／②「コンナ モング「ライ～。<①②いずれも同じ程度に行  
われる。>

全面否定<<だって>>

61. 誰だってそんなこと言われたら怒るよ。 ①ダレ「デ「モ 「ソナ コ「ト  
「ユウ「レタラ オ「コル「ゾ。(一般的)／②ダレ「カ「テ～。(主に女性)／  
③ダレ「ヤ「テ～。(古老)

S. 次の動作が不可能<<きり>>

62. 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。 ○「ジューネンマ「エニ  
「ザイショ ハナ「レタ「ママ「 イッペ「ン「モ 「カエツト「ラヘン。<「ママ」  
は「マンマ」とも言う。「きり」は共通語的。>

(5) モダリティー的なもの

T. 不確かな気持ち<<やら・か>>

63. いつのまにやら眠ってしまった。 ①イツノ「マニ「カ 「ネテ シ「モタ。／  
②シ「ラント「ル ウチニ 「ネテッテ シ「モタ。(これもよく言う。)／③イツ  
ノ「マニ「ヤラ～。(これもよく言う。)

64. 何のことか分からない。 ①ナンノ 「コツ「チャ 「ワカ「ラン ワ。(や  
や古風。主に男性。)<「コツチャ」は「ことや」であろうか。あるいは「ことやら」  
の「や」脱か。>／②～「コ「トカ～。(一般的にこれが行われる。)／③～「コ「  
トヤラ～。(柔らかな感じ。)

\*\*「か」を含んだ副詞に「ドーニカ「コ「ーニカ」「ナン「デ「カシラン」(なぜか)  
「モ「シカシタラ」などがある。

推定<<か>>

65. 後で遊びに行くかもしれない。 ①アトデ 「アスピニ イク「カモ 「ワカ「  
ラン。(「遊びに行く」を「ジャマシニイク」とも言う。)／②～「イク「カ 「ワ  
カ「ラン。

どちらか分からない<<やら>>

66. 来るのやら来ないのやらよく分からない。 ○クン「ノ「カ コン「ノ「カ  
「ヨ「ー 「ワカ「ラン。

\*\*「やら」を含む助詞に「タラ」(←とやら)がある。「アイツ 「イク「タラ  
イ「カン「タラ ユーテ 「ホンマニ ニエキラン ヤツ「チャ ワ。」「ア  
ノ トキ ナン「タ「ラ 「ユ「ー「タ 「ナ「ー。」など。「とか」の意である。

はっきり言わない<<やら>>



67. どこやらへ引越したそうだ。 ①ドコ「ヤ」ライ 「ヒッコシテツ「タ」ミ」  
 タイヤ 「ニ。 <「どこへやら」とは普通言わない。 >/②ド「ッ」カシラン～。  
 \*\*自然会話文例「ナン「ヤ」ラ 「ヨ」ーケ 「モ」ロタ ワ。」(あれこれ沢山)

U. 非難 <<たら・てば>>

68. お父さんたら今日も遅いのね。 ①オ「ト」ーサンツタラ キョ「ー」モ 「オ  
 ソイ」ンヤ 「ナ」ー。(多) <タラの前に多少の促音を伴う。 >/②オ「ト」ーサ  
 ンワ～。(こうも言う。)

69. お父さんてば、子供のようなことを言って。 ①オ「ト」ーサンチュータラ 「コ  
 ドモミ」タイナ コト ユーテ。/②オ「ト」ーサンタラ～。(こうも言う。)

III. 総括(まとめ)

1. 今回の調査では「副助詞の体系をとりあげる」ことを念願しているが、たとえばその一つ「こそ」をとりあげて、真にこれを体系的に記述しようとするれば、それなりにけっして容易ではないと思われる。いまは、副助詞とされるものを広く網羅して、いわば高所からの俯瞰をものしようとするのである。なお、副助詞には係助詞をも含めているが、一つだけ「は」をとりあげての質問はしていない。
2. 副助詞はどういう文表現類型に活動するか。上来の69個の質問文を通覧して分かるように、これは、感動・呼びかけ・応答・挨拶などの諸表現にはほとんど現れず、いわゆる要求表現にはさほど多くはなく、いわゆる判叙表現とりわけ説明表現の畑でよく活動する。副助詞の性質上、このことは至極当然と解される。
3. 当方言においては、質問文にあるような副助詞を用いた表現はしないで、別の表現をすると認められるものには、下記がある。

番号	とりあげ話部	当方言では
2.	米ばかりか麦も	～モ～モ/～ダケヤナシニ～モ/～ダケトチゴテ～モ
4.	～ただけに～	～タデヨケーニ
7.	まんじゅうなど	無形/～ナンカ
11.	私になり	～ニデモ
12.	野菜なんて	～ナンカ/ミタイナモン
13.	醤油だって味噌だって	～デモ～デモ/～ヤログ～ヤログ/～ニシテモ～ニシテモ
15.	村長とて	～デモ/～ヤユーテモ/～ニシテモ/～カテ/～ヤテテ
20.	ゲートボールだって	～デモ/～モ/～カテ
24.	名前すら	～サエ/～モ/～ヒトツ
36.	父ばかりか母も	～ダケヤラヘン～モ/～バツカリトチゴテ～モ
45.	残っているきりで	～ダケデ
52.	文句こそ言え	～はヨーユーケド

54. 動かばこそ                      ウゴクモンカ／ウゴカヘン  
 55. 言わないでこそ                ユワンヤ  
 58. 聞くまでもないこと            キクホドノコトデモナイ／キカンデモエーコト  
 60. こんなものなど                ～グライ／～ヤツタラ  
 61. 誰だって                        ～カテ／～ヤテ／～デモ  
 62. 離れたきり                      ～タママ  
 69. お父さんてば                 ～チュータラ／～タラ

4. 当方言においては、質問文にあるような副助詞を用いることもある一方、別に優勢な注目すべき言い方があるとされるものには、下記がある。

1. 風さえ                            ～モ／～マデ  
 3. 小学生でさえ                    ～デモ／～カテ  
 6. お茶でも                        ～ナト      <18も同じ。>  
 14. 私なり弟なりが                ～カ～カガ  
 22. 子供にでも                      ～ニカテ  
 27. 三日ほど                        ～バカ  
 28. 半分くらい                      ～バカ  
 30. 一週間ばかり                  ～グライ／～バカ  
 31. 去年ほどではない              ～ニクラベテソンニ～ナイ  
 37. 食べるばかりにして          ～タラエーヨーニシテ  
 42. たまにしか                      ～ニコソ  
 46. これだけしか                  ～ダケコソ  
 51. 心配すればこそ                ～スリヤコサレ  
 63. いつのまにやら                シラントルウチニ／イツノマニカ  
 64. 何のことか                      ～コトヤラ／～コツチャ  
 67. どこやらへ                      ドッカシラン

5. 上記3および4の整理結果に、当方言の副助詞の活動の特色が現れている。

以下には、質問文にある副助詞を当方言においても常用するとされるものを列挙する。

5. 暇さえあれば / 16. 梅も桜も / 17. テレビもそろそろ / 23. 食べることくらいは  
 (ただしグライワと濁る。) / 25. 千円もかかった / 26. これさえあれば / 32. 油断  
 したばかりに (バツカリニ) / 33. 苦勞しただけあって / 35. それこそ / 39. 駅まで  
 / 40. 一人ずつ / 41. 2個ずつ (ツーツとも) / 43. パンだけ / 44. 勉強ばかり (バ  
 ッカ) / 47. 今年こそ / 48. これだけ言っても / 49. 2千円くらいまでなら /  
 50. やればやるだけ (ヤリヤルダケ) / 57. 働けば働くほど (ハタラキヤ～) / 59.  
 昼飯も食えない

(さとうとらお)